



自由もみ

子ども部門

pick up!



古河マルシェ



競技もみ

第157回 古河提灯竿もみまつり ～受け継がれていく伝統～



三自治会、第三位は「全原自治会」でした。「バチン、バチン」とぶつかり合う竹竿の音や炎をあげて燃える提灯に観客からは大きな歓声があがり、もみ手の熱気と共に気迫あふれる掛け声が師走の夜空に響き渡りました。

また、古河提灯竿もみまつりと同時開催された「古河マルシェ」。三国橋大聖院線の一部約100mを歩行者天国にして、37店舗の飲食店や地元野菜の直売店などが出店しました。

寒い夜に温かい飲み物を手に行き交う人たちで、大いにぎわいました。

江戸時代から続く伝統行事「古河提灯竿もみまつり」が12月2日、JR古河駅西口おまつり特設会場で行われました。

今年で157回目を迎えるこの祭りは、矢来と呼ばれる高さ約10mの囲いの中で、長さ約20mの竹竿をぶつけ合い、竿の先につけた提灯の火を消しあう祭りで「関東の奇祭」ともいわれています。

会場には、約1800人の参加者と市内外から大勢の見物人が訪れ、矢来の外でもみ合いが起こるほどのにぎわいでした。

大人部門(競技もみ)の優勝は「七軒町自治会」。準優勝は「下